

歴史が織りなす日本とモーリシャスをつなぐ絆

在モーリシャス日本国大使館

現在、モーリシャスの在留邦人は50名をちょっと越える程度ですが、それでも歴史は人と人のつながりを作ってくれます。

現在、モーリシャス大学で歴史学を教えるモーリシャス人の先生のお母様は、既に亡くなられていますが、なんと神戸生まれのインド人です。よく聞くと、その父親がインドの英雄チャンドラ・ボースの側近だったとのことで、ボースの亡命先の日本で育ったお母様がモーリシャス人に嫁いで当地に来て、誕生したのが先生です。お母様は、日本語がネイティブだったとのことで、当時の在留邦人とも普通に日本語で会話していたそうです。

娘である先生から、お母様が生前日本で生活されていた頃の写真を見せてもらいましたが、そこには着物姿のインド人姉妹のかわいい姿が映っていました。また、当時使用していた国民学校の国語の教科書も大事に保管されていて、それを手にした瞬間、歴史と人間の織りなす不思議な感覚にとらわれました。